

# 正副議長からの挨拶



第 95 代議長

自由民主党 5 期

内 野 幸 喜

玉名郡

## ○ 議長就任挨拶から

(令和 8 年 3 月 18 日、本会議場にて)

議員各位多数の御推挙により、第 95 代議長に御選任いただきました。もとより微力ではございますが、本県議会が県民の皆様への負託に応えることができるよう、常に県民の目線に立ち、活発な議論が交わされますよう、一生懸命職責を果たしてまいります。

今年は、「熊本地震から 10 年」という節目を迎えます。この 10 年の復旧・復興の歩みをしっかりと振り返り、防災・減災への備えなどの教訓を次世代に継承し、「防災先進県くまもと」の確立を進めていくことが重要です。

そして、「水俣病公式確認から 70 年」という節目も迎えます。この節目を契機とし、地域の更なる再生・融和を図るとともに、情報発信の強化により、水俣病に対する理解を促進し、その歴史と教訓を次世代へと伝えていかなければなりません。

さらには、令和 2 年 7 月豪雨からの復旧・復興と「緑の流域治水」の取り組みや、令和 7 年 8 月豪雨からの復旧・復興を県政の最優先事項として、着実に力強く進めていくことはもちろん、半導体関連産業の集積への対応、交通渋滞の解消や地下水保全の推進をはじめ、空港アクセス鉄道などの重要課題についても、引き続き、全力で取り組んで参ります。

県政を停滞させることなく、また、県民に開かれた議会を実現するため、皆様に関心を持っていただける議会運営に努めて参る所存です。



第 104 代副議長

自由民主党 4 期

橋 口 海 平

熊本市第一

## ○ 副議長就任挨拶から

(令和 8 年 3 月 18 日、本会議場にて)

議員各位多数の御推挙により、第 104 代副議長に御選任いただきました。身に余る光栄であり、心から御礼を申し上げます。

議長の補佐役として、県民の皆様への負託に応えることができるよう、誠心誠意その責務を全うする所存です。